



開業間もない三河田原駅と渥美線電車／大正末頃／河合写真館撮影



行先表示板と急行マーク／個人蔵



記念乗車券類／豊橋鉄道蔵



安藤忠雄氏設計による現在の三河田原駅

渥美線

渥美半島と外界をつなぐ鉄道の物語

三河田原駅開業90周年企画展



2014年12月6日〔土〕 ➡ 2015年2月1日〔日〕

〔開館時間〕 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

〔休館日〕 毎週月曜日

●ただし、1/12（月・祝）は開館し、1/13（火）は休館します。また、12/28（日）～翌年1/5（月）まで休館します。

〔観覧料〕 一般400円（320円）、小・中学生無料

※（ ）は20名以上の団体割引料金です。

- 常設・特別展示室のみ観覧の場合：一般210円（160円）
- マナカ・トイカ等鉄道系ICカード提示者は2割引。（企画展観覧料のみ）
- 渥美線一日フリー乗車券と企画展入場券が一緒になったセットチケット（1,200円）も発売します。（渥美線の三河田原、大清水、高師、南米、新豊橋駅で販売）
- シェルマよしごとの共通券も販売中。

企画展
パンフレット
（500円）を
販売します

〔主催〕 田原市教育委員会、田原市博物館 〔共催〕 中日新聞社

〔特別協力〕 豊橋鉄道株式会社 〔後援〕 愛知県教育委員会

- 博物館講座、沿線めぐり、バスでめぐる「まぼろしの渥美線」ツアーも開催！
詳しくはチラシ（文化会館など市内公共施設に設置）・ホームページ等をご覧ください。

同時開催

渡辺華山と椿椿山〈特別展示室〉

渡辺華山と椿椿山は師弟であり、最も親しい友人でもありました。
重要文化財なども展示します。

豊橋鉄道渥美線は東三河の中心都市・豊橋と渥美半島の付け根にあるまち・田原を結ぶ18.0kmの鉄道路線で、大正13年（1924）の開業からこれまで、渥美半島と豊橋、さらに遠くの地域を結ぶパイプとして、地域のヒト・モノ・コト（出来事）と密接に関わってきました。今年は渥美線開業90周年であるとともに、有名な建築家である安藤忠雄氏設計による三河田原駅舎が誕生して1年となります。

そこで、豊橋鉄道株式会社の全面協力を得て、渥美線の企画展を開催します。時代の雰囲気を感じられる鉄道写真や絵はがき、実際に使用した鉄道の道具や看板、文書資料、さらに渥美線に関わった人々の思い出などから、時代とともに移り変わる渥美線とその周囲の光景などを紹介します。渥美線の過去と未来に思いを馳せてみませんか？

田原市博物館 ☎22局1720 <http://www.taharamuseum.gr.jp>